

第 62 回ギャラクシー賞 南海放送制作のラジオ・テレビ 2 番組が入賞

南海放送が制作した『ラジオドラマ「うっちゃり横綱道 前田山英五郎」』が、第 62 回ギャラクシー賞上期選考のラジオ部門で入賞候補作品に選出されました。この番組は愛媛県出身では唯一の横綱・前田山英五郎の波乱万丈な人生をラジオドラマ化したものです。入賞候補作品から「大賞」「優秀賞」などが選ばれ、来年 6 月のギャラクシー賞贈賞式で発表されます。

また、同賞テレビ部門では『哀訴～棄てられた残留日本人妻たち』が奨励賞を受賞しました。この番組は戦後の韓国に捨て置かれた残留日本人妻（在韓日本人妻）の実態を明らかにしたもので、愛媛県出身の國田房子さんを中心に描いたものです。

ギャラクシー賞とは、NPO 法人 放送批評懇談会が日本の放送文化の質的な向上を願い、優秀番組・個人・団体を顕彰するために 1963 年に創設したものです。

※ラジオ部門…応募 61 本、4 次選考／テレビ部門…応募 175 本、6 次選考

※ギャラクシー賞贈賞式…2025 年 6 月上旬開催予定



私たちは、愛媛主義 南海放送

『ラジオドラマ「うっちゃり横綱道 前田山英五郎」』

【放送日時】2024年5月26日（日）13時00分～14時30分

【スタッフ】取材・脚本 江刺 伯洋（南海放送）

ディレクター・編集 乗松 佳洲彦

キャスティング協力 新名 真裕美

【番組概要】

前田山英五郎。愛媛県唯一の横綱であるが、横綱時代の通算成績が24勝27敗と負け越しかったため“史上最弱の横綱”と言われたほか、場所中に日米野球を観戦し相撲界を引退させられたため“野球を見に行っ
て辞めさせられた横綱”などとレッテルを貼られ、地元では前田山にマイナスのイメージを持つ人も多い。
しかし、初めて相撲を海外に紹介し、外国人関取第1号の高見山を育てたり、引退セレモニーの為に女性力
士を土俵に上げたり、相撲部屋に洋式トイレや洋式ベッドを導入するなど、角界のパイオニアで熱い人情家
だったという事を知る人は少ない。番組では高見山や、地元で前田山と関わりのあった方々取材した。伝
統を重んじる相撲界で常識にとらわれず、革命的な事を数多く実現した前田山の本当の姿とは・・・ドラマ
部分と現在の取材パートの両面から迫る。

【この件に関するお問い合わせ】

南海放送株式会社 新時代 FM 推進局 松下和明 E-mail matsushita@rnb.co.jp TEL 080-2854-1653

『哀訴～棄てられた残留日本人妻たち』

【放送日時】2024年5月30日（木）1時55分～2時55分

【スタッフ】ナレーター 戒田節子・永野彰子 撮影 安庭慎也・玉井克典

構成 日笠昭彦 ディレクター 戒田菜美 プロデューサー 荻山 雄一

【番組概要】

終戦前、朝鮮半島出身の男性と結婚し、その後韓国で暮らした日本人女性を「残留（在韓）日本人妻」と呼
ぶ。その暮らしは想像を絶するものだった。愛媛県出身の國田房子さん（108歳）は「負けるもんか」を
口癖に、食料や着る物、金銭など身銭を切って残留日本人妻たちの支援を行った。彼女たちを支え続けた
108歳の記憶とともに、捨て置かれた日本人女性たちの足跡を辿る。

【この件に関するお問い合わせ】

南海放送株式会社 総合コンテンツ戦略室 荻山雄一 E-mail ogi@rnb.co.jp TEL 080-2854-1737

私たちは、愛媛主義 南海放送